



かっぱ連邦笑和国 徳須恵川でのカヌー教室 特集ページで紹介

市議会 だより

P2	補正予算・議案質疑
P3~P4	議案質疑
P5~P6	委員会
P7~P13	一般質問
P14	一般質問・意見書
P15	特集ページ
P16	こども議会 編集後記

あなたとつなぐ からつ

2025年8月 第92号

令和7年度 唐津市一般会計 6月補正予算

26億4,485万5千円 を可決しました!

令和7年度一般会計予算総額 921 億 4,093 万 7 千円

【総務費】

PICK UP 1

- ・バス・タクシー運転手緊急確保事業補助金
708万8千円

【土木費】

PICK UP 2

- ・排水路整備費
200万円

PICK UP 4

- ・市道明神線他舗装改良事業費
7,426万1千円

【消防費】

PICK UP 3

- ・消防本部本署庁舎長寿命化改修事業費
(継続費初年度分)
6,029万8千円

【教育費】

PICK UP 5

- ・学校給食食材購入費
6,465万4千円

《特別会計》

- ・国民健康保険特別会計 1,133万円
- ・後期高齢者医療特別会計 497万2千円
- ・介護保険特別会計 154万円

6月補正予算事業の
一部です!



6月定例会

PICK UP

1

運転手の確保を

バス・タクシー運転手 緊急確保事業補助金

生活路線バス等の持続的な運行を図るため、交通事業者が行う従業員の第二種運転免許取得の支援に対し補助する。

Q 支援の背景及び事業内容について。

A バス・タクシーいずれも運転手の不足が課題となっていることから、市では運行事業者が行う第二種免許取得支援の取り組みに対し、補助を行っていく。

Q 対象の事業者数と補助対象の見込数は。

A バスが1社、タクシーが4社。補助対象の見込数は、路線バスが15人、タクシーが39人を3年間で充足できるよう取り組んでいく。

Q 補助対象経費について。

A 第二種免許取得に要する費用の3分の1を補助、また条件によって最大で2分の1の補助を予定している。



議案質疑

提出された28件の議案に対して各会派からのべ19名の議員が質疑を行いました。



詳しくはこちら

PICK UP

2

法定外公共物(水路等)の整備ができます
整備助成金事業

排水路整備費

生活環境の向上のため、法定外公共物(水路等)の整備に対し助成金を支給する。

Q 法定外公共物とはなにか。事業の対象となる水路等は。

A 法定外公共物とは、登記上私権が設定されていない里道や水路のこと。対象となる水路等とは、農業用水路以外の水路や、開発行為に伴い市に帰属された調整池等で、関係人家2戸以上のものが対象となる。

Q 事業の対象者は。

A 水路等を管理していただいている地区代表者または、水路等に敷地が近接する家屋の居住者で、当該水路の整備を行う方を対象者と考えている。



鏡地区の水路

PICK UP

3

消防本部本署庁舎改修します

消防本部本署庁舎長寿命化 改修事業費(継続費初年度分)

建築後44年を経過し、老朽化が著しい消防本部本署庁舎の長寿命化等の改修を行う。

Q 内容について。

A 壁、床、天井、訓練施設等の構造及び、照明、換気設備等の附帯設備の長寿命化改修工事と、1階に接客室の設置、主要出入口の電気施錠化等の消防業務環境改善工事等を実施。

Q 改修工事期間中の安全対策と本部機能を維持する方法は。

A 毎朝工事箇所を周知し、災害出動時に支障が出ないように施工業者と随時調整をする。また3階大会議室に仮設事務室を設置し、本部機能を維持していく。

Q スケジュールは。

A 1階車庫、2階事務室、3階事務室を各々3ヶ月程度、3階大会議室を合わせて約11ヶ月を予定している。



消防本部本署庁舎

PICK UP

4

市道明神線を石畳舗装に

市道明神線他舗装改良事業費

城内地区の良好な景観形成を図るため、舗装改良を実施する。

Q 事業効果と、他の祭りの環境整備は。

A 市道明神線は、新庁舎・市民会館・曳山展示場・唐津神社を結ぶ道路で、景観計画の重点区域に指定されている。無電柱化に続き、石畳舗装で地域の魅力向上を図る。唐津の祭りは「からつ力」を高める重要な要素であり、小友祇園山笠の海中巡行路の嵩上げや、相知くんちの山笠巡行のための電柱の嵩上げなどの環境整備を実施。今後は、道路整備に限らず、地元と連携し、維持・継続に向けた支援も検討する。

Q 道路の維持管理費と耐用年数について。

A 車両や曳山の通行に耐える特殊な資機材を使用する工法を用いる。20年以上使用されている他事例が多く、耐久性が高い。10年ほどで軽微な破損が発生することがあり、職員による補修を想定している。大規模補修時は、資機材の再手配が必要で、アスファルト舗装よりも高額となる。

Q 曳山十四台が通るが、路面の凹凸について。

A 目地は最小限にし、滑り止め加工を行った平坦な石材を使用するため、路面の凹凸には問題ないと考える。また、唐津くんちと同様に曳山を用いる埼玉県川越市と愛知県犬山市での実績調査では、石材の割れ、破損等は起きておらず、耐久性は十分に有すると考える。



完成(イメージ図)

PICK UP

5

学校給食費無償化へ

学校給食食材購入費

保護者の経済的負担軽減を図るため、児童生徒の学校給食費の無償化を行う。また、食材価格が高騰しているため、学校給食費を改定し、食材購入費を追加する。

Q 無償化の対象者は。

A 唐津市立小中学校に通学している児童生徒の学校給食費を負担している保護者。

Q 無償化の改定はいつから。

A 令和7年度2学期からの開始を予定している。

Q 給食費の改定額は。

A 小学生: 1食当たり253円 ⇒ 301円(+48円)
中学生: 1食当たり304円 ⇒ 362円(+58円)
増加率: 約19.1%

Q 学校給食費無償化についての市長の思いは。

A 子育て世帯への支援を更に充実させるとともに、栄養バランスの取れた安全・安心な給食を提供し、子どもたちの健全な成長を支えることで、3期目の公約の大きなビジョン「市民によりそう唐津」の実現に向け、全力で取り組んでまいりたい。



総務教育委員会

◎宮本 悦子 ○岡部 高広 大西 康之 古賀 博文 松本 増浩 榑崎 三千夫 田中 路子

◎社会教育コミュニティ事業助成金(菜畑公民館)

- Q 建替は、宝くじの財源で助成の上限は2千万円か。
- A 事業費の5分の3で上限は2千万円。
- Q どれくらい前から申し込みをされていたのか。
- A 菜畑公民館は、5年目で採択された。

《現地調査》

- ・菜畑公民館(菜畑)
- ・相知図書館(相知町相知)
- ・相知町保健センター(相知町中山)

◎相知図書館移転改修事業費

- Q 相知町保健センターに移転するにあたり、キッズスペースが設置される場所はどこか。
- A すこやかルームの畳敷きを活用。
- Q 特色は何か。
- A キッズルームの充実と併せて、読書スペースを広く取りゆっくりと滞在できる空間を提供する。
- Q フリーWi-Fiの設置については。
- A 現在設置している分を活用する。



相知図書館(相知町)

産業経済委員会

◎山下 壽次 ○久保 美樹 野田 宗作 甲斐田 晴子 中山 亘 水竹 道夫 伊藤 一之

◎体育施設整備費

- Q 相知的硬式庭球場の整備はいつ頃から計画されていたのか。
- A H30年頃から必要性は認識していたが、国スポの整備が優先となり、今回となった。
- Q 整備後はどれ位の利用を見込んでいるか。
- A 相知硬式庭球場を人工芝に改修することで、相知軟式庭球場を廃止し、集約化を図る。軟式庭球場の利用者は、年間1,300人位。今回新たに、夜間照明を整備し、旧唐津市内からの利用増も見込んでいる。
- Q 工期は。
- A 8月中に入札を行い、9月から3月までに工事を実施予定。

《現地調査》

- ・厳木工業団地(厳木町)
- ・相知天徳の丘運動公園硬式庭球場(相知町)



相知天徳の丘運動公園硬式庭球場(相知町)

都市整備委員会

◎青木 茂 ○宮原 辰海 高倉 寛和 山浦 学 古田 リバー 筒井 紀充 吉村 慎一郎

◎こどもを守る通学路づくり事業費

Q 事業内容は。

- A 令和6年度までの点検で対策が必要とされた全ての箇所について、カラー路面標示や交通安全に配慮し、場所に応じた対策を行う。

◎市道明神線他舗装改良事業費

Q 舗装改良するに至った経緯は。

- A 令和5年度から工法の検討や事前調査を行い、景観まちづくり専門家会議への付議、パブリックコメントを経て、都市再生整備計画に位置づけた。

《現地調査》

- ・市道七ツ釜線(屋形石)
- ・西唐津市営住宅(妙見)
- ・大規模盛土造成地(石志)

【附帯意見】

市道明神線他舗装改良事業費については、事業実施に当たり城内地域の景観など関係団体等との十分な調整を行い、今後の維持補修に係る財源及び資材の確保等に関する検討を行うこと。また、各地域における道路整備についても、安全で快適な市民生活の確保に努めるよう強く要望する。



市道七ツ釜線(屋形石)

市民厚生委員会

◎古藤 宏治 ○黒木 初 江里 孝男 井手 清和 片峰 和也 大河内 正弘 伊藤 泰彦

◎特定親族特別控除創設

Q 特定親族特別控除とは。

- A 物価上昇や就業調整に対応するため、大学生年代(19~23歳未満)の扶養親族について、一定の所得額(58万円超~123万円以下)でも最高45万円の控除が受けられる新制度。

◎旧障害者福祉会館解体事業

Q 周辺家屋事前調査の内容と費用の根拠は。

- A 対象となる建物周辺の21件について、内部・外部の現況調査および地盤変形調査を行う。大規模建築物が含まれるため約2千6百万円の予算を計上。弁償費は含まれていない。

Q 解体スケジュールは。

- A 本夏に準備と入札を行い、秋から解体を開始し、3月までに整地を含め完了予定。

Q 解体後の跡地の利用方針は。

- A 解体完了後、総務部財産管理課に引き渡し、一般公募により売却予定。

《現地調査》

- ・旧障害者福祉会館(栄町)
- ・愛の木(宇木)



旧障害者福祉会館(栄町)

一般質問 6月議会 市政のここが知りたい

6月定例会の一般質問は、6月11、12、13、16日の4日間でわれ、22名の議員が登壇しました。

市民の声を代弁する一般質問の掲載について 一般質問の記事は、きめられた文字数のなかで、議員本人が質問・答弁の原稿を提出しています。詳しくはQRコードから一般質問の様式をご覧ください。



唐誠会 片峰 和也

児童発達支援について

Q 市が直営で児童発達支援あゆみ教室を運営している理由と目的について伺いたい。

A あゆみ教室は心身障がい児通園事業として、障がいや、発達が気になる子どもたちの支援を市の役目のひとつと捉えている。保護者と一緒に通園することで、指導員が直接保護者に、子どもの発達状況や特性を伝えることで、適切な関わりを目的としている。

Q あゆみ教室の利用者への送迎サービス導入の予定は。

A 今後も親子での通園を継続していきたいので、現時点での送迎サービスの導入は予定していない。

Q あゆみ教室の利用状況は。

A 令和6年度は36%。

◎他の質問
・生活保護について



詳しくはこちらで



公明党 宮本 悦子

不妊治療に寄り添った支援を!

Q 不妊治療の保険適用内容は。

A 女性は43歳未満が対象で、人工授精や体外受精、顕微授精、受精卵・胚培養等も含まれる。

Q 本市や県の助成制度の内容は。

A 市は43歳以上に最大20万円、2年目以降10万を上限で、県は先進医療に7割補助。

Q 保険適用後も治療費は高額、治療費以外の交通費等も含めて、独自助成はないのか。

A 通院に伴う費用への助成はなく、医療費控除の利用を案内している。

Q 治療と仕事の両立支援も必要。本市の状況は。

A 国制度を活用している市内企業は確認できていない。制度周知を商工会などと連携し、環境整備に努める。

Q 不妊治療の周知や男性啓発は。

A 市報等で周知し、男性不妊は県と連携して啓発予定。

◎他の質問
・子宮頸がん撲滅に向けて
・重層的支援体制整備事業の導入について



詳しくはこちらで



志政会 久保 美樹

フェムテックで女性にやさしいまちづくり

Q 女性特有の健康課題や働きやすい職場の環境整備、市の具体的支援と現状と今後、フェムテック活用の方角性及び企業との連携や理解促進の取組、全体的な考え方は。

A 母子アプリや生理用品設置等、助成支援を進めてきた。今後は、フェムテック視点を政策に反映し、若年女性の流出防止や定住促進とも連携させたまちづくりを推進していく。

企業認識は、限定的で導入も進んでいない。商工団体と連携し制度周知を図りながら、育休制度の活用促進、理解の醸成など、働きやすい環境整備に向

けての支援を強化、先進事例を参考に取り組みを進めていく。

◎他の質問
・中心市街地の活性化について
・ふるさと納税の新たな仕組みの導入について



詳しくはこちらで



新風唐津 青木 茂

私の公約の中から「自治力の向上」について

Q まちづくりは、例えとして健康づくりに類似している。日頃からの健康づくりを自分で意識する(自助)。異常があれば医療機関にお世話になる(共助)。医療費が高額になれば高額医療制度のお世話になる(公助)。すなわちこの三助を意識した「まち・ひとづくり」が大切だと考える。唐津市の現在の支援状況は。

A 自主防災活動のほか、福祉・スポーツ・農林水産・社会教育やがんばる地域応援支援などに対し支援を行っている。

Q 支援制度の使いづらさや支援期間の検討など地域からの改善意見などがあるようだが。

A 自治活動を継続していただく環境を整えるためには見直しも必要と考えている。

Q こども議会など、主権者教育などの考えは。

A 成人年齢も引き下がり、学校教育に求められる極めて重要な要素の一つと考えている。



こども議会



詳しくはこちらで



志政会 大西 康之

どうなる? アルピノ!!!

Q 立地適正化計画による都市構造再編集中支援事業の計画年度は。

A 現計画は令和8年度まで。令和8年度の早期に事業化に向け次期計画作成の必要あり。

Q 第3次中心市街活性化基本計画の策定は。

A 地域全体で取り組む体制が必要。庁内各部署を束ねて令和7年9月までに方針を決定する。

Q 仮称:新市民会館の竣工が1年遅れるが、それに伴いアルピノ敷地民間移行も1年遅れとなる。プロポーザルの時期は。

A 令和8年度中。周知公募半年、選定事務半年。

Q プロポーザルを行うまでに、ミニットについて整理する必要があるのでは。時間最大50台の駐車場は敷地を区切り設けるべきでは。

A ボートレース企業局と協議の後庁議で決定。これも含め、民間貸付に係る公募条件及び敷地面積は、令和7年度中に決定する。

	R8		R9		R10		R11	
	4	10	4	10	4	10	4	10
事業者選定	事業者選定 12ヵ月							
唐津市 調整 工事			解体 9ヵ月	道路調整 10ヵ月				
事業者			施設構想・ 基本・実施設計 18ヵ月		建築工事 (建物建築・開店) 18ヵ月			



詳しくはこちらで



唐津市民党 田中路子

小中学校給食費無償化決定

Q 3月市議会で給食費無償化について取り上げた。それを受け、素早い対応で市長が無償化を実現されたことに敬意を表す。今後は日本一の給食にしてほしい。

また、議場への飲み物の持ち込みについてお聞きしたい。

A 飲み物の持ち込みについては、皆さんで協議をしてもらいたい。

Q 玄海原発の安全協定が50年間締結されていない理由は。

A 就任以来(8年間)何度も答弁したが、原発立地都道府県と立地の市町村との協定が結ばれている。唐津市は30Km圏内で玄海町を囲っている地域であり、安全協定の締結は大変厳しい状況であると認識している。



詳しくはこちらで



日本共産党 黒木 初

今後の人口減少を見据えたICT導入を

Q 市でタクシー通学支援を行っている学校数と対象は。

A 小学校6校・中学校3校で12ルート、対象は58人。

Q 利用実績の管理方法や支払い事務の流れは。

A 学校が乗車記録をつけ、タクシー券で運行確認。児童生徒の乗車記録とタクシー券を照合し、学校は利用者を確認・報告、教育委員会は請求書と突合して支払いを行っている。

Q 今後少子化が進み、将来的にバスからタクシーに切り替わる学校が増える可能性も考えられる。事務が煩雑となる前にICカードやICT化等の検討を行う必要があると思うが、ルート拡大に備えた対応は。

A 事業者への聞き取りを行い、ICT活用による業務簡素化のため情報収集と整理を進めたい。



通学支援タクシー



詳しくはこちらで



新生会 古賀 博文

観光客を対象にした宿泊税について

Q 宿泊税について。

A 宿泊税は各地で検討が行われている。観光振興の為に、財源を確保し、最適な財源を導き出すことは重要である。

宿泊税は中長期的に安定した財源となることが見込め、その財源を用いて観光地として持続力を高めていくことが重要である。

Q 国際交流について。

A 唐津市は、友好都市1都市、姉妹都市3都市、友好交流意向書締結都市2都市と交流を行っている。民間・行政共に交流を行いながら、多方面にわたって相互理

解、友好関係を深めてきた。その中で多文化共生の意識が個人に留まらず地域にも醸成された。交流当初に目指していた方向は概ね推進できている。



詳しくはこちらで



新風唐津 井手 清和

上下水道の安全性と洋上風力発電について

Q 全国で相次ぐ道路陥没事故を受け、唐津市における上下水道管の安全性確保と、将来を見据えた取り組みは。

A 独自の緊急点検として直径80cm以上の管路約8kmの目視点検を令和7年5月28日に実施し、安全性を確認した。今後も計画的なメンテナンス強化に努める。

Q 洋上風力発電について九州における発電構成と唐津市沖の洋上風力発電ではどの程度の発電構成に寄与するのか。また国内外で洋上風力発電事業の撤退が相次いでいる。唐津市が計画を推進する理由は何か。

A 九州発電比率火力35%・原子力39%・再生可能エネルギー20%。唐津沖洋上風力発電約1%寄与する。複数

の事業者が唐津湾沖に関心を示している。まずは有望区域として法定協議会が設置されることを望む。



詳しくはこちらで



新生会 **野田 宗作**
地域医療について

Q 七山地区の歯科診療所が閉院した原因は。

A 人口減少により患者が少なく、市は施設整備などに対する支援を行ってきたが、経営の継続は困難だった。

Q 条件不利地域には公的支援が必要と考えるが市の考えは。

A 今後、閉院などで準無医地区となる地域は、巡回診療に係る医師の確保などをはじめとした医療支援の体制づくりに努めたい。

Q 地域医療の現状や課題、市の取り組みに関する市民への情報共有が不十分であるとの声があるが、市の考えは。

A 今後同様のケースが生じる場合は、地域の皆さまの声をしっかり受け止め、市役所の中の相談体制を整えながら課題を共有し、丁寧な対応をしていく。

◎他の質問
 ・農地復旧について



詳しくはこちらで



唐誠会 **山浦 学**
有害鳥獣対策について

Q 有害鳥獣対策予算の区分ごとの額・割合については。

A 全体で1億4,042万9,987円、防護対策に関する予算額4,689万500円で全体の33%。
 棲み分け対策に関する予算額290万1,000円で全体額の2.0%。
 捕獲対策に関する予算額9,030万100円で全体額の約64%。

Q 埋却処分を続けていくうえでの課題と対策については。

A 本市で駆除されたほとんどのイノシシは、駆除従事者に一任している。
 捕獲から埋却に係わるまでの費用を捕獲報奨金とし

て国庫補助と併せて支払いし、対応している。



七山 池原地区



詳しくはこちらで



新生会 **高倉 寛和**
漁業の振興について

Q 明日の漁業者支援事業について、補正予算を計上し、唐津市独自で後継者対策をされているが、後継者対策と併せて、漁家経営の安定、所得の向上に繋がる事業展開も必要と思うが、市の考えは。

A 現在、漁業を取り巻く環境は、漁獲量の減少、燃油を始めとする物価高騰の影響により漁業経費が増大し、非常に厳しい状況であると認識している。

Q 唐津地区の漁業の振興に向けて今後の取組みは。

A 唐津地区の漁業の振興には、担い手の確保が一番の課題。

また、これまで取り組んできた水産資源の回復や、ス

マート漁業の推進による操業の効率化を図っていくことが重要であると考えている。



呼子のイカ



詳しくはこちらで



新生会 岡部 高広

呼子の町並み保存の進捗は

Q 今までの取組み状況と今後の予定は。

A 今まで、保存対策調査報告書の概要版を対象地区の各家に配布し、住民説明会や個別訪問を行った。今後は、「保存活用計画」の素案を作成し、住民の理解が得られるよう個別訪問などを実施する。住民の同意が得られれば、保存条例の制定、保存審議会の設置、都市計画法に基づく保存地区の決定、保存活用計画の策定を進め、国に重要伝統的建造物群保存地区選定の申出を行う。

Q 選定されるとどうなるのか。

A 建物等の修理、修景、防災設備の設置など、国庫補助を

受けながら、町並みの保存活用事業を展開していく。

◎他の質問

・唐津市立学校通学区域審議会について



呼子の町並み



詳しくはこちらで



志政会 宮原 辰海

山の会議(仮)市としての取り組みについて

Q 山の会議(仮)の取り組みとは。

A 未来へつなげる地域の自発的な「山活」の輪が広がり山の地域がより輝くことを目指す。

Q 獅子城跡と旧街道に関する取り組みについて。

A 城跡は平成12年から21年にかけて発掘調査を実施し、調査報告書を刊行した。唐津・塚崎往還(旧街道)は令和4年度から調査を行い、本年度中に報告書を刊行する予定で、随時、市内の公民館講座で報告している。

Q 作礼山周辺の森林整備(景観再生)について。

A 市有林については現況を確認し整備が必要となれば、

今後、整備計画を立てていきたい。

Q 全国都市緑化フェア誘致の考えについて。

A 国内最大級の花・緑のイベントであり佐賀県では令和10年春の開催を予定している。再整備事業を行っている松浦河畔公園がサテライト会場となるよう取り組んでいきたい。



詳しくはこちらで



新風唐津 甲斐田 晴子

官民連携のまちづくりと学校給食について

Q 中心市街地活性化協議会とは。

A 商工会議所、まちづくり会社はじめ民間事業者、行政機関が構成員の法定協議会で、中活基本計画を作成しようとするときは、本協議会の意見を聞かなければならない。

Q 都市再生推進法人とは。

A まちづくりの中核を担う法人で唐津市都市計画マスタープランでは、都市再生推進法人の設立支援を掲げており、今後取り組む予定。

Q 既存のまちづくり会社との違いは。

A 違いはなく、現在の認定されている全国の都市再生推

進法人の大半がまちづくり会社。

Q 今後、給食の質や正しい食育推進のため指針策定が必要だと思うが、唐津市の考えは。

A 地産地消率の維持・向上に加え、食を通じた子どもたちの地域愛を育むためにも、「学校給食の指針」の作成に向けた検討を進めたい。



詳しくはこちらで



新生会 山下 壽次
公共施設について

- Q 公共施設を利用するニーズの確認は。**
A 6年度から新たな市民ニーズ等により必要となる施設の調査を実施。副市長を長として調査結果や諸課題を踏まえ、今後の進め方について協議を行っている。
- Q 公共施設再編審議会の意見は。**
A 大災害に対しては、避難できる場所のあり方、人口による一人当たりの床面積の地域格差等の意見があった。
- Q 施設の再編は「点」ではなく、「面」として捉え、公共施設の配置を進める必要があるのでは。**
A 再編審議会の意見を踏まえ、新たな市民ニーズ等の把握に努め、各分野で行政が担うべき部分を明確にし、

施設の推移を俯瞰するなどして、公共施設の配置について点検を進めたい。



たかくし温泉



詳しくはこちらで



公明党 筒井 紀充
小中学校の体育館へのエアコン設置について

- Q 子どもたちの健康を守り、避難所にもなる体育館の空調設備は急務と考えるが、現在本市の小中学校体育館のエアコン設置状況は。**
A 小学校23施設、中学校20施設、合計43施設で空調設備を設置している屋内運動場はない。
- Q 鏡中体育館の改修工事でエアコン設置予定は。**
A 令和8年度に適した空調設備を設置する予定。
- Q その他の小中学校体育館へのエアコン設置について本市の考え方と計画は。**
A 令和9年度に鏡中の屋内運動場で熱中症対策の効果の検証と並行し、「唐津市小中学校屋内運動場空調設

備整備計画」を策定し、実施設計、整備工事を行いたいと考えている。

◎他の質問
 子育て支援—保育施設における紙おむつのサブスク化導入、多子世帯の保育料軽減策、
 高齢者支援—緊急通報装置貸与事業の利用登録条件の緩和など



詳しくはこちらで



新生会 榎崎三千夫
観光トイレと農地の賃借について

- Q 松原内のトイレに対する市の考えは。**
A 平成31年3月にバイオトイレを設置。本年3月でリース期間が終了。汲み取り式簡易水洗トイレを、本年7月中に供用開始の予定。
 松原は国より借用しており、佐賀森林管理署利用計画の承認が必要であるが、観光客が利用できるトイレを今後も設置していきたい。
- Q 農地の賃借の制度改正の内容は。**
A 農業経営基盤強化促進法に基づき、令和7年4月から農地バンクが中間に入り、相応しい耕作者に賃借するようになっている。

Q 制度改革は農業問題の解決が目的と思えるが、後継者問題や企業参入について市の考えは。

A 唐津市独自の支援事業等で、移住・定住等新規就農支援に努めたい。企業が求める農地条件は耕作放棄地や不整形の農地でも構わない。



松原内の観光トイレ



詳しくはこちらで



新風唐津 松本 増浩

若者が集まれる場所の整備について

Q 屋内遊技施設の誘致状況は。

A 令和6年3月末に市内のボウリング場が閉店し、全国展開企業1社と中部地方中心展開の企業1社に市内出店の可能性を確認した。

出店にあたり、出店場所、物件確保、規制や営業条件のほか、周辺都市における同業他社の出店状況、採算性の見通しなど、総合的に勘案する必要があり、出店には至っていない。

Q 若者を地域にとどめるために、商業施設整備などを含めた地域と市の連携は。

A 遊技場等の誘致による居場所創出や、地域の魅力を

高めるイベント等の充実などが必要と考えており、商業施設や地域団体、関係事業者と連携し、若者が魅力を感じ、定着につながるまちづくりを推進したい。

◎他の質問

・歴史的建造物を活用した学校教育の現状について



詳しくはこちらで



公明党 水竹 道夫

自然災害への対策について

Q 落雷事故を受けて、学校への指導や対策は。

A 文科省からの通知を各学校に配信し、注意喚起を行った。

Q 学校における落雷避難の基準はあるか。

A 明確な基準はないが、気象情報の把握に努めるよう指導している。

Q 学校における子供たちの災害への啓発、避難訓練の実施状況は。

A 自分で判断し、行動する「自助」ができる児童生徒の育成を目指している。避難訓練も各学校で計画的に実施している。

Q 人の判断に依存せず、科学的な根拠に基づいた情報で避難行動を促す自動的な仕組みを導入するなど、市としての検討は。

A 専門家や他市町、国の動向を確認しながら、検討していく。

◎他の質問

・過疎地域の暮らしについて



詳しくはこちらで



新生会 大河内正弘

外国人居住者との共存共生について

Q 育成就労制度の成立により今後、見込まれる外国人居住者の増加に対しての行政による支援と地域住民の一員としてのコミュニケーションの必要性は。

A 市内在住の外国人住民数は、令和7年現在1,169人と増加傾向。また20代、30代が全体の75%と若い世代が多くなっている。今後、長期滞在や家族滞在などの要因で出産、子育て世代の増加も見込まれ出産、産後のケア、また日本語の指導など県、市と関連団体との連携でサポートを行っている。また防災対策の面からも多言語での防災情報の提供等の案内を行っている。国籍や年齢、家族構成などが多様化する中で、多様性

を認め合う多文化共生の「意識づくり」「地域づくり」「環境づくり」に取り組んでいくことが重要であり優先すべき課題と考えている。



詳しくはこちらで



新風唐津 古田リバー

市役所職員の働きやすい環境作りとNP宣言

Q 市役所内に職員用の休憩室を整備する検討状況は。

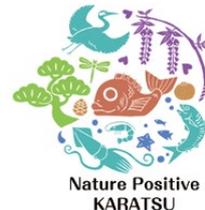
A 提案いただいた3月以降、佐賀県と県内市の事例を調査し、職員アンケートを検討中。職員のメンタルヘルス研修は今後も継続予定。

Q 「ネイチャーポジティブ (NP) 宣言」に込めた自然環境へのビジョンは。

A 令和7年3月、NPフォーラム九州を唐津市で開催。市長が「NP宣言」を発表し、市民・企業・行政が一体となって取組む方針を表明。里山・里海の保全や、生態系回復に向けた経済活動の推進を目指す。

Q NP実現に向けた戦略や方針は。

A 専門家・大学・庁内が連携し、教育・観光と共に保全の輪を広げる。民間主導の協議会を設け、補助金や寄附を活用し、自然資本を経済と結びつけた持続可能な仕組みを構築する。



詳しくはこちらで

意見書

市議会では、権限を持っている行政機関に意見書として提出し、解決を求めるために議会としての意思を表明しています。

■学校給食費の完全無償化を早期に実現するための制度整備を求める意見書

学校給食は、すべての子どもにとって健やかな成長と学びを支えるための重要な社会的インフラ。

自民党・公明党・日本維新の会の三党合意において、「令和8年度(2026年度)より小学校給食の無償化を実現する」ことが盛り込まれたが、今回の合意では中学校段階の無償化には明確な期限が設けられておらず、「できる限り速やかに」とする表現にとどまっている。子どもたちは、年齢や学校段階によって分断されるべきではなく、小学校・中学校を問わず等しく保障されるべき。

地方と都市部との間で教育の機会に格差が生じないよう、国による支援が必要。

よって本市議会は、国に対し、以下の事項について速やかに対応されることを強く求める。

- 1 小学校に加え、中学校給食費についても、速やかに無償化を実施すること。
- 2 学校給食費の無償化について、制度的な裏付けを持った恒久的措置とすること。
- 3 給食の質の保障のために、最低食単価を設定し、物価や地域差に応じて適切に見直す仕組みを整備すること。

■若者の政治参加を促進する抜本的改革を求める意見書

我が国の被選挙権年齢は、公職選挙法により衆議院議員・地方議会議員については満25歳以上、また参議院議員については満30歳以上と規定されている。

一方でOECD加盟国では、下院での被選挙権年齢は満18歳以上が23か国、60.5%と最も多くなっており、日本の衆議院の様に25歳以上というのは、5か国、13.2%と少数派となっているのが現状である。また、選挙権年齢と被選挙権年齢を18歳以上と統一している国も過半数を超えている。

唐津市では、若年層の投票率が著しく低い水準にとどまっており、政治参加への関心の減退や、政治との距離感が広がっている。この傾向を放置すれば、将来的な民主主義の担い手不足にもつながりかねない。

よって政府においては、様々な権利が得られると同時に相応の義務を負うことになる成人年齢との均衡や、選挙権年齢と被選挙権年齢を一致させている国際的な潮流を踏まえ、被選挙権年齢については引き下げるとともに、若者の政治参画を促進するため活動継続に必要な支援のあり方等について、抜本的な改革を行うことを要望する。

意見書の全文及び提出先は、唐津市議会のホームページで閲覧できます。



詳しくはこちら

特集 団体さんご紹介 **かっぱ連邦笑和国**



「かっぱ連邦笑和国」は、北波多を拠点に、住民に河川愛護や環境問題への意識の醸成、こどもの健全育成をテーマに活動し今年で 36 年目を迎えます。また地区のイベントの運営、企画にも積極的に携わっています。

こどもたちを対象にした「平成かっぱ塾」の塾生も多くが成人し、塾での経験を糧に社会に貢献しています。一年を通して山、河、海で活動し陶芸教室やキャンプを通しての情操教育も行っています。



会の代表を務める原田清人大統領は、長年にわたり地域振興につとめ、優れた成績を挙げた方に贈られる瑞宝双光章を今年4月に授与されました。

議場でこども議会を開催しました!



こども議会の様子

相知小学校6年生が6月30日に社会科の学習の一環として、こどもたち自身が考えた「身近に行ける飲食店をつくることについて」と「相知町にたくさんの人が楽しめる公園をつくることについて」の2議案を提案し、こども議会を体験しました。

こどもたちからは「将来は議員になりたい」などの感想があり、市議会の仕組みについて学習しました。

編集後記

夏の陽ざしも一段と強まり、唐津のまちも本格的な観光シーズンを迎えていることと思います。

花火大会や海水浴、キャンプなど、多くの方が唐津を訪れるこの季節。観光を通じて、自然や文化、地域の人々とのふれあいをとおして唐津の魅力を感じていただければ幸いです。

さて、今回の編集作業は、参議院議員選挙の真っただ中という時期に行ないました。6月議会の後半から取り組みを始め、限られた時間の中ではありましたが、編集委員一人ひとりが責任と意欲を持って力を尽くし、無事に発行することができました。

今後も、多くの皆さまに読みやすく、親しみを持っていただける議会だよりをお届けできるよう努めてまいります。

皆さまからの率直なご意見やご感想が、今後の紙面づくりの大きな力となります。どうぞお寄せください。
(黒木 初)

唐津市議会がインターネットで視聴できます

【放送する議会】

定例会および臨時会、決算・予算特別委員会

【視聴方法】

唐津市議会ホームページからご覧いただけます。

スマートフォン・タブレットでも
視聴可能です。

※録画配信については、会議終了後、
概ね3日(土・日・祝日を除く)
以内に配信を開始します。



唐津市議会中継

唐津市議会 インターネット中継

検索

「唐津市議会報」編集委員会メンバー

委員長	久保 美樹	委員	片峰 和也
副委員長	岡部 高広	委員	大河内正弘
編集長	黒木 初	委員	古田リバー
委員	野田 宗作	委員	筒井 紀充
委員	高倉 寛和		

唐津市議会だより

令和7年8月1日
第92号

◎発行:唐津市議会 ◎編集:「唐津市議会報」編集委員会

■唐津市議会事務局内 〒847-8511 佐賀県唐津市西城内1番1号
TEL72-9162 FAX75-1515